

# 地域密着型サービス自己評価項目

## 評価項目構成

	自己評価 項目数	外部評価 項目数
・理念に基づく運営	<b>24</b>	<b>14</b>
1. 理念の共有	3	2
2. 地域との支えあい	3	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5	4
4. 理念を実践するための体制	7	3
5. 人材の育成と支援	6	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<b>10</b>	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6	1
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<b>17</b>	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	3	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10	2
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<b>38</b>	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	30	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8	2
<b>合計</b>	<b>89</b>	<b>33</b>
サービス評価に関する(自己評価のみ)	13	
<b>合計</b>	<b>102</b>	

**記入方法**  
事業所の管理者が介護従業者と協議し、ご記入ください。  
「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に「1」を、それ以外に「2」を入力してください。  
サービス評価に関する項目では、選択肢から事業所として該当すると思われる「1」～「4」の数字を入力してください。

自己項目は89項目です。【国87項目+県追加2項目。除くサービス成果項目】  
外部評価項目は33項目です。【国30項目+県追加3項目】  
「自己評価」は、上部の項目番号が通し番号となっています。  
「外部評価」には「外部評価」の表示と下の項目番号が通し番号です。  
県の追加項目には「追加」。重点項目には「重点」と項目の横に表示しています。  
サービスの成果に関する項目は、13項目です。

**用語について**  
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。  
職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。  
チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、地域包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

<b>事業所名</b>
<u>グループホーム あざみ苑</u>
(ユニット名)グループホームの場合 <u>グループホーム あざみ苑</u>
<b>記入者(管理者)</b>
<u>迫田 輝実</u>
<b>記入日</b> 2007年5月2日

グループホーム あざみ苑

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	3	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	階段や廊下に理念を掲げており、日々確認できる様になっている。	0	
		2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月のカンファレンス、日々の申し送り等を利用し話し合いを常に行っている。	0	
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	日用品や食材、理・美容室等は、できるだけ地域の店を利用し、協力をお願いしている。ご家族へは、家族会や面会等その都度説明している。	0	
			2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
		2	4 <b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の時等、常に挨拶を心がけている。イベントの時は近所の方にも声をかけ遊びに来ていただいている。	0	
		5 <b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	商店会、町内会にも入会しており、地域のバザーや夏祭り等のイベントにも参加している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		1	地域推進会議に町内会長等、町内の役員に出席してもらい、苑の内容など回覧できるよう働きかけてもらうよう頼んでいる。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価内容や評価結果を全スタッフで確認し、改善策等を話し合い、評価を受ける事で、各個人又苑全体の介護・ケアサービスを再度確認・見直しをしている。	0	
		8 外部 評価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価内容に加えて、他施設と比べての当施設の問題点や取り入れる点を報告し、状況等を含め話し合っている。	0	
		9 外部 評価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域の民生委員や市役所の高齢者施設課、介護保険課等に出向いたり、電話等で疑問や質問等を話したり、聞いたりしてケアサービスに取り入れている。	0	
		10 外部 評価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	介護研修や福祉サービスからの郵便・FAXなど必ず目を通し必要な方には、活用できる様支援し話し合いの場をもっている。	0	
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	TV・ニュースや新聞で報道された時は、スタッフ間で連絡取り合い、新聞を職場へ持ち込んだり、その度話し合っている。スタッフ用のトイレにポスターを貼り防止に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0		
理念に基づき運営	4	理念を実践するための体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に至る迄に何度も面談をし、こちらのシステムを細かく説明し、利用者や家族の不安、要望、疑問をよくお聞きし、全て納得していただいた上で契約を行う。	0	
			13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苑内に市の相談窓口のポスターを貼り、又、スタッフと利用者ができるだけマンツーマンで話や悩み、苦情等が話しやすい体制をとっている。苦情等が出た場合、カンファ等で話し合い改善策を出し合っている。	0	
			14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月2回の手紙や写真、苑だより等により、利用者の状況、状態をお知らせしている。金銭管理については、定期的に家族に領収書を含めて出納帳を確認、チェックしていただいている。	0	
			15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時、定期連絡に必ずか家族の話や意見を聞く機会を設け、意見箱を設置し、苦情窓口や市や地域の相談苦情窓口の連絡先を書面にてお教えしている。又、それらの苦情はカンファ等で改善に向けて話している。	0	
			16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期カンファで、幅広く意見交換をし(介護だけでなく)又、個別にも話を聞く機会を設け(雑談も含めて)それらを運営に反映させる様努めている。	0	
			17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	家族の要望で通院など、人手が多く必要な時は常に申し送り、連絡を取り合い勤務調整をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよ うに、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利 用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来、大部分が同じ職員によるケアを行う事 ができています。新しい職員が入る場合も事前に苑 に遊びに来てもらったりして違和感の無い様に努 めている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や 年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生 きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよ う配慮している	定年は設けているが、本人希望により、再雇用制 度を取っている。定年を越えた方でも体面やや る気を重視して採用している。それぞれの得意な 分野を目標に向けて頑張れる様配慮している。	0	
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するた めに、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者の人権を守る為の配慮は概ね出来ていると 思うが職員の人権教育等については、カンファで 話し合う事しかできていない	1	外部に人権教育セミナー等にも参加する機会を もっていきたい。
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をた て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている	職員たちの実績や段階に応じて色々な研修を受け られる様に、休みや待遇を調整し、又、研修等の 情報も取り入れられる様にしている。	0	
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、 ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に他施設や病院を訪問し、交換や、勉強会 等の交流を持ち思い込み介護にならない様につと めている。	0	
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境 づくりに取り組んでいる	時間やシフトにより、各スタッフが確実に休憩時 間を取り入れるようにした。マッサージチェアを 置き、休憩時間等に自由に利用出来る様にした。	1	今後は、スタッフのレクリエーション（旅行や食事 会等）も充実させていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	出来るだけ施設に行き、勤務状態を確認しながら、資格取得に向けて頑張っているスタッフには、補助金制度を取り入れたり向上心を評価する様に、各自にも伝えている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	2	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	0	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく り と その 対応	25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込みの時点で必ず本人との面会を重ね、本人の希望や不安、施設に対しての要望等を聞き、出来る限りそれらを受け入れる様努めている。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込みから、入居に到るまでの間に、面会や話しを聞く機会を何度も持ち、本人に対して、家族が何を望んでいるのか、何が不安なのかをじっくり聞き、それに向けての対応を一緒に考え話し合う。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族が必要としている助けや要望をよく聞き、施設として、何が出来るか、どこまで、してあげられるかを、検討し対応している。	0	
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ケアサービスは本人がかかえている不安や心配事を取り除いてあげ、安心して毎日を過ごせる環境や雰囲気を作り信頼関係を築いてから、徐々にサービスを開始していく様にしている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	2	
係り と こ れ な 関 係 づ く り と こ れ ま で の 支 援	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフが利用者に甘えたり、励まされたりという場面を多く見かける。スタッフの年齢層も幅広く、苑内では、祖父母、娘、孫のような家族的関係が築けていると思う。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、出来る限り家族と情報交換を含め話し合う時間を持ち、それ以外にも、定期不定期的に常に連絡を取り合い話す機会を多く持っている。	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	認知の症状の進み具合や本人の精神状態等を常に家族に報告し、面会にもきて頂き、その時々に応じた関わりを大切にして、本人の今を受け入れていただく様にしている。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人と家族の希望が食い違っている事があり、家族の希望を優先する事もある。	1	出来る限り本人の希望を優先してやれる支援が出来る様にしていきたいと思っている。
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	出来ている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後、元利用者が、一定の落ち着く場所が決まるまでは、家族と連絡を取り合い関わっている。	1	退去理由が病气入院の場合が多く、元利用者が入院している間は継続的に訪問・連絡をしている。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	1	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望は充分把握できているが、現実には、認知症のため、出来ない事もあるので（例：一人暮らしでの火の始末等）そのことについては、本人に良く説明して納得していただく。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1	一人ひとりの把握	36 <b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に身近で介護に携っていた方より、生活状況、病歴、趣味等情報を得るように努めている。	0	
			37 <b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	朝夕の申し送り、他に設けられるミーティングでSTが話し合いをして、十分把握するように努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
	2	介護計画の作成と見直し	38 <b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員一人一人が担当者になり、介護計画を立て、ミーティングで話し合い、介護支援専門員がそれに、添って計画を立てている。	0	
			39 <b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	病状の変化時や期間に応じて見直しをしている。見直し以前に対応出来ない問題が出た場合は、家族は勿論、関係者と話し合い計画を作成している。	0	
			40 <b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録は全利用者毎日記録をし、情報の共有はできている。介護の実践、介護計画の見直しに活かされているとは、思うが完全とはいえない。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)		自己評価1項目・外部評価1項目	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援	41 <b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当施設は多機能事業所ではありませんので、現時点では、多機能性を活かした支援は出来ていません。	0	



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	苑のイベントに近隣の方々に声を掛けて苑にきて頂き、商店街のイベントには、参加させていただいている。町内会にも入らせてもらい、幹部の方に来苑頂く。	1	色々の考え方の違いのある住民の方に認知度の理解を得る為に、今後どの様に対応していったら良いか根回しをしている状態である。
	4	43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険を使った他事業所のサービス利用は現在使っていません。地域の介護保険外のサークルへの参加はさせていただいています。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターには、時々、指導を受ける為、訪問したり、地域推進会議に出席していただいたりして、連携をとり、今後は必要に応じて協働していただきたいと思っています。	0	
		45	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	出来ている。本人、家族の希望は大切にしている。かかりつけ医は、病状によっては、他医療機関の受診してよいと、常に言っているのでSTや看護師の判断で受診できる様に支援している。主治医には、連絡できる状態であれば、連絡をとり、緊急時は事後報告している。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医に報告し必要に応じ、認知症の専門医に相談・指示を受ける様に受診、診断や治療を受ける様に支援している。	0	
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	出来ている。看護職員とは、必要時に連絡を取り合い地域の看護職とは知り合い関係が出来て相談ののってもらっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	できている。認知症での、色々な問題行動を持っておられるので、病院関係者との情報交換は蜜に持ち、病状が落ち着き次第施設に帰れる様にしている。	0	
		49	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	できている。終末期については、早い時期にご家族と話し合い、主治医とは、毎週、診察の為に、必要なことを繰り返して話し合っている。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	出来ている。重度や終末期の利用者の状況を見極め、主治医と話し合い検討し準備している。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者が他の居場所に移られる時は、家族及び他施設のSTの方とミーティングをして、申し送り、書類でも詳細に伝達している。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	12	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	11	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3	
		52	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人一人の誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけは、極力しない事が、介護の条件であると思うが、ごく稀に職員が、その禁を犯す時もある。その都度お互いに注意しあっている。	1	利用者の人権は条例でしっかり守られているが、職員の人権が時として守られていない時があり、あまりにもひどい時があり、職員のプロ意識を高める事が、これからの課題だと考えている。
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	苑内での自己決定や希望を表せるように働きかけたり、納得してもらっているが、本人の希望とおりにすることが100%はできないし、又、認知の利用者に対し、100%希望を聞いていたら、大変な事になると思う。	1	例えば、電話をしたがる利用者に対し、職員が家族のまねをして対応したり、買い物をしたがる利用者には、苑の食材等を自分の買い物とおもわせたりの努力はしている。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できるだけ、職員の都合で動かないよう指導しているが、時に出来ていない時も、見受けられる。	1	どうゆう場合でも、利用者が先！とゆう職員の意識を統一していきたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	2	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人が望む、理容院に同行したりしているが、美容院に関して商店街の美容院に行ってもらう様にしている。個人的にエステションが来苑されている利用者もある。	1	時々マニキュアをしたり、口紅をつけたり、特に外出時は丁寧に化粧をしている。風呂上りには、化粧水等つける様、気をつけている。
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が、出来る作業は出来るだけ、手伝ってもらっている。	1	同じテーブルで、毎回食事をしているので、気候がいい時は、弁当を作り、近くの、公園に行ったり変化をつけている。
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	身体に害がない場合に限り、タバコ飲酒等は楽しんでもらっている。	0	
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表を作り、介助が必要な、利用者の排泄パターンを把握して気持ちよく排泄できる様に支援している。	0	
59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の人数等もあり、大変だが、利用者一人一人がゆっくりと入浴できる様に努力している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者一人一人の習慣を重んじ時間を決めずに対応している。大まかな時間は決めてはいるが、あくまでも、利用者の気分にあわせている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	2	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味を生かせるよう、職員が利用者の趣味を学んだりして相手をしている。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の利用者は、お金を所持しているが、多数の利用者はおこづかいを職員が管理し、その都度必要な買い物時、本人と一緒に物品の購入をしている。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	殆どの利用者には、希望にそって戸外に出かける支援ができていますが、一部利用者に対しては、できていない。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	プロ野球の観戦・芝居見物等グループホームとして、受け入れてもらえる場所へは、進んで出かける様にしている。	0	
65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者から家族への電話は、よほどの事が無い限りしないようにひいているが、家族、大切な人から利用者に対しての電話は、おおいに、支援している。手紙等はいくらでも自由にしよう。	1	家族の中には、月1回の利用料金の支払いのみの訪苑の方も多数おられ、再度、家族とのコミュニケーションが必要と思われる。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会等自由に来てもらっているが、利用者が面会を希望しても、家族が、反対して面会ができない場合がある。	1	あくまでも、本人の考えを優先してやりたいと思う。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	2	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいる。	0		
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 外部評価29 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	出入り口の鍵は常時かけている。玄関の前がバス通りでバス停でもあり、危険である。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	出来ている。	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	出来ている。	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	火災害については、責任者を決め一人一人の事故、又は事故に連なる事柄に関しては事故報告書を作りその都度検討している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防庁の救命講習に行く様にし、講習終了の職員が未終了の職員に講習内容を教える様にしている。	1	今後とも、公共の訓練等に参加し、職員全員が応急手当、初期対応に備えられるよう継続していく。
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回防災訓練を行い非常の時慌てない様にしている。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	概ね、出来ているが、一部利用者に関しては、完全ではない	1	家族の希望と苑での生活の差があり、利用者が非常にストレスをためてあり、家族との話し合いを進めているが、さらに話し合いを継続していきたい。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	2	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	介護記録、交代時の申し送りを徹底している。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	出来ている。利用者の病状、症状に対して処方された、薬の効能注意すべき副作用等を必ず申し送る様にしている。	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維の多い食物を献立に組み入れ、水分の補給にも配慮している。かつ、便秘の方に対しては主治医と相談して薬でコントロールするようにしている。	1	運動不足の解消と気分転換の為に、天候の良い時は、公園等の散歩に出かける。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアは自分で出来ない利用者は、職員が介助し他の利用者には、声かけをして清潔を保っている。	0	
		79 外部評価 31	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	おおまかな、栄養のバランスは考慮している。水分量も途中の補水、食事時の吸物等を合わせて確保するようにしている。	0	
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	実行できている。インフルエンザに対して予防接種を全員に受けてもらい外出後は手洗い、うがいを実施し、食事では、野菜を多く含む食材を使う等、食中毒に関しては、手洗いを徹底以外に調理器具の消毒に留意している。	1	疥癬に関しては、入浴時に特に気を使い、浴槽を高温熱湯で消毒、衣類も高温で消毒実施している。現在まで、肝炎、MRSAの利用者がいない為、その時点で検討していく様にする。
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的に消毒を行い、食材は、ほぼ毎日、必要な分を購入する様にしている。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価8項目・外部評価2項目	1	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価5項目・外部評価2項目	0	
		82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に利用者作成の折り紙や、貼り絵等を飾ったり、ポスターを貼ったりの工夫をしている。	0	
		83 外部評価 32	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の貼り絵や、折り紙等で、季節感を出すように努力している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの一角に畳を引いたり、廊下の途中にソファを配置して話したり休んだり、してもらう様になっている。	0		
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた家具等、持ち込んでもらう様になっている。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常時換気扇を使用しており、天気のいい日は、窓を開けるように(20センチくらい)している。温度の調節はこまめにチェック。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	杖をしようしている利用者は、手すりを併用しての歩行や廊下に設置しているルームランナーを利用し、自主的に歩行、練習している。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	洗濯物の整理、野菜揃え、簡単な拭き掃除等、個人に合わせ活かしてもらっている。	0		
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の立地が環線道路に面している為、外回りを利用するのは、不可能であるが、散歩等の時間は、できる限り取っている。	1	農家の方のご厚意で、野菜の収穫をさせて、いただける予定なので今後は土に触れる機会を増やして生きたい。	



大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。